

令和 7 年度使用

中学校用教科用図書研究資料

国 語

令和 6 年 7 月

教科用図書南那珂採択地区協議会

Ⅰ 教科目標の達成及び単元（題材）の構成・配列等

〔観点Ⅰ〕 学習指導要領に示された教科の目標を達成するために、構成・配列等について、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	(1) 単元の構成については、「言葉の力」(学習のポイント)を手掛かりにして「見通す」「学習活動」「振り返る」と学習を進め、学びを生かして「未来への扉」で示された題材について考えることができる工夫が見られる。 (2) 単元の配列については、各領域をつなぐ教材として「学びを支える言葉の力」を設定し、各領域の学習に活用できる工夫が見られる。また、学年末教材に、1年間で身に付けた力を使って自分や社会の課題について考える総まとめの教材が設けられ、学習で身に付けた力の定着と活用を促す工夫が見られる。
15 三省堂	(1) 単元の構成については、「領域別教材一覧表」で1年間で身に付ける力が視覚的に示され、「本編」で必修の学習内容を扱い、「資料編」で学習を支える資料を示すことで、必要に応じて弾力的に取り扱うことが可能となる工夫が見られる。 (2) 単元の配列については、「読むこと」の学習において、「読み方を学ぼう」を設定し、学びを広げたり、深めたりする工夫が見られる。また、「読むこと」と「書くこと」の関連づけた単元も設けられ、領域をつなげることで、学習内容の理解と定着を促す工夫が見られる。
17 教 出	(1) 単元の構成については、「言葉の地図」で年間の学習内容と身に付けたい力を示し、「学びナビ」で単元の学習内容を確認し、「みちしるべ」に沿って学びを進めることで、見通しをもって学習に取り組むことができる工夫が見られる。 (2) 単元の配列については、応用的な問題として「学びのチャレンジ」が配置され、自分の学びを確認できる工夫がなされている。また、「話すこと・聞くこと」「書くこと」では、教材末尾に学びを生活にどのように生かすことができるかを示すことで、学習内容の定着と活用を促す工夫が見られる。
38 光 村	(1) 単元の構成については、「見通しをもつ」で学ぶ内容を確認し、「学びのカギ」を手掛かりに学習を進め、「言の葉ポケット」で学びを深め、「振り返る」で資質・能力の定着を図るという工夫が見られる。 (2) 単元の配列については、教材につながりをもたせ、資質・能力を活用して学びを深めたり、異なる領域で同じ話題を扱い、考えを深めたりする工夫がみられる。また、教材の後に設定した「学びのカギ」を手掛かりに、「学びへの扉」に沿って学習することで、学習内容の理解と定着を促す工夫が見られる。

2 内容や指導の充実

〔観点2〕 主体的・対話的で深い学びを通して、目指すべき資質・能力を確実に身に付けさせるために、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	(1) 主体的・対話的で深い学びを展開させるために、学習のポイントとして示された「言葉の力」を基に、読み深めたり、グループで話し合ったりする学習活動を設けることで、学びを深めながら学習を進められる工夫が見られる。 (2) 生きて働く「知識・技能」を習得させるために、言葉や情報の関係、情報の整理について、各領域で繰り返し取り上げるとともに、「学びを支える言葉の力」を設け、取り立てて学習できるような工夫が見られる。 (3) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、各教材に明示した「言葉の力」を手掛かりに思考する学習活動ができる工夫が見られる。また、資料編の「思考のヒント」、「要約の仕方」等を手掛かりにしながら表現することができる工夫が見られる。
15 三省堂	(1) 主体的・対話的で深い学びを展開させるために、「思考の方法」で問いをもつことの大切さに触れ、思考を手助けするチャートの一覧を示すことで、生徒が問いをもちながら学習活動を進めることができる工夫が見られる。 (2) 生きて働く「知識・技能」を習得させるために、各教材の「語彙を豊かに」では、様々なテーマで教材と関連した語彙を取り上げることで、表現に生かせる語彙を増やし、語感を磨くため工夫が見られる。 (3) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、学習の振り返りの段階で、習得した知識・技能を活用して、「自分の考え」を表現することを繰り返すことで、知識・技能と関連付けて自分の考えを形成することができる工夫が見られる。

17 教 出	(1) 主体的・対話的で深い学びを展開させるために、教材の冒頭で「学びナビ」が設定され、何を学ぶかを明確にすることで、生徒の主体的な学びを引き出したり、読みを深めるための思考のヒントを具体的に示したりするなどの工夫が見られる。 (2) 生きて働く「知識・技能」を習得させるために、各教材に「言葉・情報」の学習を設けるとともに、「言葉の小窓」「言葉と社会」「文法の小窓」と解説編を活用して学習することで、多様な言葉と出会い、言葉への理解を深める工夫が見られる。 (3) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、学習活動の流れと重点を示し、「話すこと・聞くこと」教材では学習のポイントを示したり、「書くこと」教材では学習活動における話合いの様子を示したりすることで、理解を深める工夫が見られる。
38 光 村	(1) 主体的・対話的で深い学びを展開させるために、教材の学習の流れが段階的に示された「学びへの扉」や学習のポイントがまとめられた「学びのカギ」が設けられ、生徒が見通しをもち、自らの学びを確認しながら学習に臨める工夫が見られる。 (2) 生きて働く「知識・技能」を習得させるために、「言の葉ポケット」が設けられ、言葉の使い方の違いや関連する言葉などについて考えさせることで、言葉に関する興味・関心が深まる工夫が見られる。また、「語彙ブック」として別冊にまとめ、語彙の獲得・活用を促す工夫が見られる。 (3) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、巻頭の「思考の地図」で思考の方法を示し、学習の際に目的に応じて使うことができる工夫が見られる。また、「情報整理や思考のレッスン」が設定され、情報の関連や吟味について、考えることができる工夫が見られる。

3 利便性の向上

〔観点3〕 学習効果や使用上の利便性を高めるとともに生徒にとって分かりやすいという視点から、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	(1) 学習効果や使用上の利便性については、各教材に示した二次元コードにデジタルコンテンツの内容を分かりやすく示し、生徒が必要に応じてすぐに参照できる工夫が見られる。 (2) 生徒にとっての分かりやすさについては、巻末にある「言葉の力」一覧で3年間の学びを振り返えったりすることができるとともに、「デジタルコンテンツ一覧」には「家庭学習マーク」を示し、家庭で予習や復習に活用できる工夫が見られる。
15 三省堂	(1) 学習効果や使用上の利便性については、巻末の「二次元コード参照先コンテンツ一覧」において、資料の種類を分かりやすく分類し、生徒が必要に応じて活用できる工夫が見られる。 (2) 生徒にとっての分かりやすさについては、「読み方を学ぼう」や「思考の方法」を一覧にし、使い方の例とともに図解で示すことで、様々な学習活動で活用しやすい工夫が見られる。
17 教 出	(1) 学習効果や使用上の利便性については、二次元コードの「まなびリンク」において、学習に役立つ情報をウェブサイトで参照できるようにする工夫が見られる。 (2) 生徒にとっての分かりやすさについては、「学びナビ」一覧において、当該学年で学ぶ思考の方法を示すことで、身に付ける力が明確になり、学習活動に活用しやすい工夫が見られる。
38 光 村	(1) 学習効果や使用上の利便性については、「ICT活用のヒント」において、各領域でのICTの活用場面や参考となる資料を示し、効果的にICTを活用することができる工夫が見られる。 (2) 生徒にとっての分かりやすさについては、「学びのカギ」一覧において、領域ごとに1年間の学習内容がまとめられ、生徒が身に付けた力を確認し、学習に生かせる工夫が見られる。

4 地域の願いや思い、生徒の実態等

〔観点4〕 家庭や地域と連携した学習の推進とともに、生徒の確実な基礎・基本の定着という観点から、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	(1) 生徒の家庭学習を支援するために、理解を深めたり話したり書いたりする際の参考にしたり、一歩先の学習へと進んだりするなどの学習に役立つ「デジタルコンテンツ」が用いられ、家庭で予習や復習に活用できる工夫が見られる。 (2) 生徒の確実な基礎・基本の定着のために、「広がる言葉」では教材に関連した語彙が取り上げられている。また「言葉の力」では、事実と考えとの関係を捉え要旨をつかむ方法や根拠を提示し意見を述べる方法などが示されており、段階を踏んで学習するための工夫が見られる。
15 三省堂	(1) 生徒の家庭学習を支援するために、思考力・判断力・表現力を伸ばす方法が示された「読み方を学ぼう」が設定され、図や解説等が分かりやすくまとめられており、解説用の「二次元コード」と合わせて家庭で予習や復習に活用できる工夫が見られる。 (2) 生徒の確実な基礎・基本の定着のために「語彙を豊かに」では、理解できる語句と使える語句の量を増やし、教材に関連した語感を磨くための語彙が取り上げられている。また九種類の「思考の方法」により、物事を多角的に捉える視点や効果的な発想の方法を示す工夫が見られる。
17 教 出	(1) 生徒の家庭学習を支援するために、読むこと教材の補足資料や言語活動の参考資料、古文・漢文の解説などを見ることができ「まなびリンク」を用いて、家庭で予習や復習に活用できる工夫が見られる。 (2) 生徒の確実な基礎・基本の定着のために、考え方の方法を自分の表現に生かすことができるような工夫が示された「学びナビ」が設定されている。また、文章で表された情報を理解するための着眼点を示した「言葉・情報コーナー」が配置され、語彙を豊かにするための工夫が見られる。
38 光 村	(1) 生徒の家庭学習を支援するために、漢字の読みや筆順・熟語などが確認できたり、文法などの練習問題を解くことができたりするなど言語事項に関する内容が充実した「二次元コード」を用いて、家庭で予習や復習に活用できる工夫が見られる。 (2) 生徒の確実な基礎・基本の定着のために、描写や言動・思考に関する適切な表現が語彙一覧表として「語彙ブック」にまとめられている。また、学習のポイントや前後の学習とのつながりが確かめられるように「学びのカギ」が設定されるなどの工夫が見られる。

